

中学校第1学年 国語科学習指導案

日 時 平成24年9月28日(金) 2校時

指導者 教育センター所員 澁谷 由美子

単元名 文章に図表を組み合わせ、「『私』の説明文」を読みやすく印象的なものに仕上げよう

教材 図表を使って伝えよう - 「私」の説明文 -

1 単元について

佐賀県の中学生の実態として、平成24年度佐賀県小・中学校学習状況調査の結果から、「書くこと」に課題があることが分かった。特に「相手や目的に応じて、分かりやすく書くこと」に課題が多く、正答率が低かった。

本単元は、中学校に入学して2回目の「書くこと」の単元である。1回目は入学した頃の体験や身近に見かけるものを題材に、自由な発想で、4行程度の詩を仕上げた。反復や比喩など、様々な表現の工夫を取り入れて、小さな発見を生き生きと伝える詩に仕上げることができた。

今回は2回目の「書くこと」の単元である。1回目の単元が比較的自由に書くことができたのに対し、本単元では伝える内容を考えて、書くための材料を集めるとともに、材料を分類・整理し、図表を使ってまとめたり、段落の役割を考えた文章を構成したりしながら、読みやすく印象的な説明文を書くことがねらいである。

説明する文章を書く際には、相手や目的に応じて伝えたい事実や事柄を的確に記述することが求められる。伝えたい情報を選んで説明の順序を考えたり、ふさわしい語句や表現を用いたりすることが大切である。「『私』の説明文」では、文章を分かりやすいものにするために、図表を用い、効果的な図表の使い方についても考えさせることにする。

指導に当たり、初めの一步として図表を効果的に使う学習を行う。説明や記録の文章には図表が使われることが多い。説明の文章を、もっと分かりやすくするために、図表を組み合わせるとよいことを知らせる。次に、説明の材料を集め、材料を分類するなどして整理させる。最後に、選び出した材料を基にして、文章にどのような図表を組み合わせたら分かりやすい説明文になるのかを考えさせる。

また、文章の構成についても考えさせるために、全体的なことを述べる段落、一つ一つの材料を詳しく述べる段落など、段落の役割を意識して、それぞれの段落を、どのような順番に並べて書くかを考えて下書きをさせる。できあがった下書きをグループ内で読み合い、推敲して「『私』の説明文」を読みやすく印象的なものに仕上げるまでを指導することにする。

2 単元の目標

- (1) 図表を用いた説明の効果などを考え、読みやすく印象的な説明文を書こうとしている。
- (2) 伝えたいことが明確に伝わるように、材料を収集・分類・整理しながら、分かりやすい段落構成や図表を考えて説明文を書くことができる。
- (3) 書いた説明文を読み返し、説明と図表との対応や、図表が説明の助けになっているかを確認し、読みやすく印象的な説明文にすることができる。

3 単元の言語活動

文章に図表を組み合わせ「『私』の説明文」を書く。

4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	書く能力	言語についての 知識・理解・技能
図表を用いた説明の効果などを考え読みやすくして印象的な文章を書こうとしている。	伝えたいことが明確に伝わるように、材料を収集・分類・整理しながら、段落の役割を考えて文章を構成している。(イ) 書いた文章を読み返し、説明と図表との対応や図表が説明の助けとなっているかを確認し、読みやすくして印象的な文章にしている。(エ)	図表を説明するとき指示語や接続詞を工夫して使っている。(イ(イ)) 学年別漢字配当表に示されている漢字を適切に使って文章を書いている。(ウ(イ))

5 指導と評価の計画(全5時間)

次	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
一	1	1 教科書の文章や記事を図表にまとめて、図表の形式や効果的な図表の表し方について話し合う。 2 学習課題を確認する。 文章に図表を組み合わせ、『私』の説明文を読みやすくして印象的なものに仕上げよう。	伝えたい内容に合った形式の図表を選び、その理由について明確に説明させる。説明の文章を展開する上で、図表が果たしている役割や効果について、明確に説明させる。 学習計画表を基に、学習の課題や学習の流れを理解させる。	[国語への関心・意欲・態度] 学習計画表, ワークシート
二	2	3 自分について説明するための材料を集めて分類し、書く材料を選び出す。 ・自分の特徴が分かる事柄や、紹介したい事柄を付箋に書き出す。 ・材料同士の共通点を見つけてグループ分けをし、見出しを付ける。 ・自分らしさを表すためには、どのような内容がよいかを考えて、材料を選び出す。	自分について説明するための材料を、思いつくままに付箋に書き出させる。 後で絞り込む作業をするので、まずはたくさん挙げさせる。 材料同士の共通点を見つけてグループ分けをさせ、見出しを付けさせる。材料が足りない場合は、付け加えさせる。 単に書きたいもの、書きやすいものを選ぶのではなく、目的や相手に応じて書く内容を選ぶようにする。	[書く能力] ワークシート, 付箋の記述
三	3	4 材料を基に図表をまとめ	「完成作品例」を見ながら、文	

	<p>るとともに，構成を考えて説明文の下書きをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい内容に合った形式の図表を選んでまとめる。 ・文章と図表の効果的な組み合わせについて考える。 ・文章の構成について考える。 ・説明文の下書きをする。 	<p>章と図表の効果的な組み合わせについて考えさせる。</p> <p>選び出した材料を基にして，文章にどのような図表を組み合わせたら分かりやすい説明文になるかを考えさせる。</p> <p>学習の手引きを参考に，文章と図表の効果的な組み合わせについて考えさせる。</p> <p>全体的なことを述べる段落，一つ一つの材料について詳しく述べる段落など，段落の役割を意識させ，どのような順番に並べて書くかを考えさせる。</p> <p>文章と図表の効果的な組み合わせについて考えさせながら，下書きをさせる。</p>	<div data-bbox="1145 766 1430 916" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[書く能力] 「私」の説明文の下書き</p> </div> <div data-bbox="1145 925 1430 1120" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[言語についての知識・理解・技能] 「私」の説明文の下書き</p> </div>
4	<p>5 下書きを読み合い，意見を出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で下書きを読み合い，もっと分かりやすい説明文になるように，気付いたことを付箋を用いて伝え合う。 ・付箋に書かれていることを基に，自分の下書きを見直し，推敲して清書の方向性 	<p>「自分らしさ」を伝える内容になっているか，分かりやすい図表になっているか，文章の構成は分かりやすくなっているかななどの観点を基に，グループ内で下書きを読み合わせ，気付いたことを付箋に書き込んで下書きに貼らせる。</p> <p>誤字脱字等，表記に関する気付きは，直接下書きに書かせる。</p> <p>よいところを青の付箋に，改善した方がよいところを赤の付箋に書くようにさせる。</p> <p>付箋に書かれている気付きを基に，自分の下書きの見直しをさせる。</p>	<div data-bbox="1145 1675 1430 1870" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[書く能力] 「私」の説明文の下書き，付箋の記述</p> </div>

三		について考える。	読みやすくて印象的な説明文になるように，推敲させる。	[言語 についての知識・理解・技能] 「私」の説明文の下書き，付箋の記述
	5	6 説明文を清書し，読み合う。 ・クラス内で読み合い，感想を交換する。	付箋に書かれた意見を基に，説明文の清書をさせる。 図表の効果について，具体的な叙述などを挙げながら意見を述べ，自分の表現にも生かすようにさせる。 お互いのことをよりよく知るためのきっかけにさせる。	[書く能力] 「私」の説明文の清書

6 4 / 5 の指導計画

(1) 目標

『私』の説明文の下書きを読み合い，図表の効果や説明の分かりやすさ，文章の構成などについて考えることができる。

(2) 展開

	学習活動	教材資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 本時の目標を知る。	学習計画表	前時までの学習を想起し，学習計画表を基に，本時の目標と学習の流れを確認する。	
	『私』の説明文の下書きを読み合い，意見を出し合おう。			
展開	2 『私』の説明文の下書きを読み合う。	説明文の下書き	司会者，記録者，報告者，タイムキーパーを決めさせる。 下書きを読み，意見を出し合い，報告をまとめる時間を20分とする。 最後に推敲の方向性についてまとめたことを発表をすることを知らせる。	
	<p>読み合うときの観点</p> <p>「自分らしさ」を伝える内容になっているか。</p> <p>説明の内容に適した図表を選んでいるか。</p> <p>文章の構成は分かりやすくなっているか。</p>			

その他（誤字，脱字など）

開

- ・ 観点を基に，下書きを読み合う。
- ・ よいところ，改善した方がよいところを付箋に記入し，下書きに貼る。

付箋

観点を基に，よいところ，改善した方がよいところを付箋に書いて伝えることを知らせる。

観点を念頭に置きながら，よいところは青の付箋に，改善した方がよいところは赤の付箋に書かせる。

書画カメラに提示しやすいように，図表の両端に付箋を貼るよう指示する。

よいところ，改善した方がよいところなど，観点を基に記入させ，下書きに貼らせる。

付箋に書かれた意見を出し合い，観点毎にグループでまとめさせる。

- ・ グループでよいところ，改善した方がよいところの意見をまとめる。
- ・ 付箋に書かれた意見を基に，下書きを振り返る。

付箋に書くことができない生徒には，友達の下書きで上手だと思う部分や，自分がまねをしたいと思う部分を見付けて，付箋に書くように促す。教科書 P77 の生徒作品を参考にするように促す。

友達の下書きのよいところや，改善した方がよいところについて，観点を基に，意見をいくつか付箋に書いている状況をおおむね満足（B）と判断する。

[書く能力]
「私」の説明文の下書き，付箋

指示語や接続詞，既習の漢字を適切に使って文章を書いている状況をおおむね満足（B）と判断する。

[言語についての知識・理解・技能]
「私」の説明文の下書き

3 話し合ったことを，グループで発表する。

改善の方向性について，観点毎に発表させる。

発表を聞き，自分の説明文の推敲の参考にさせる。

4 付箋に書かれた意見を基に，自分の書いた

友達の下書きや，付箋に書かれた意見を参考にし，推敲

	下書きを振り返る。		の方向性について考えさせる。	
まとめ	5 本時の学習の振り返りをし、次時の目標を知る。	学習計画表	授業を振り返って学習計画表に「学んだこと・感想」を記入させる。次時は説明文を清書し、感想を交換することを知らせる。	